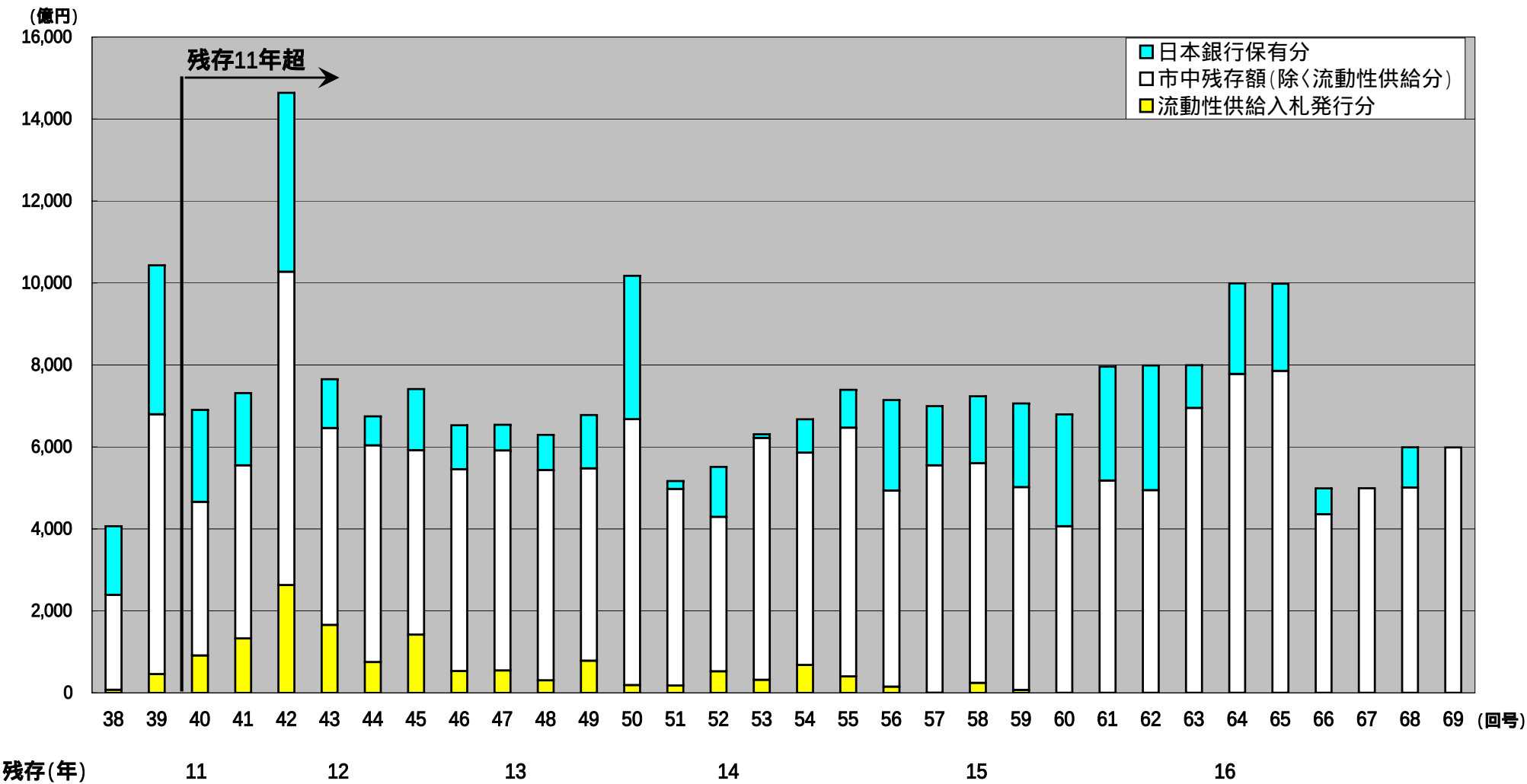


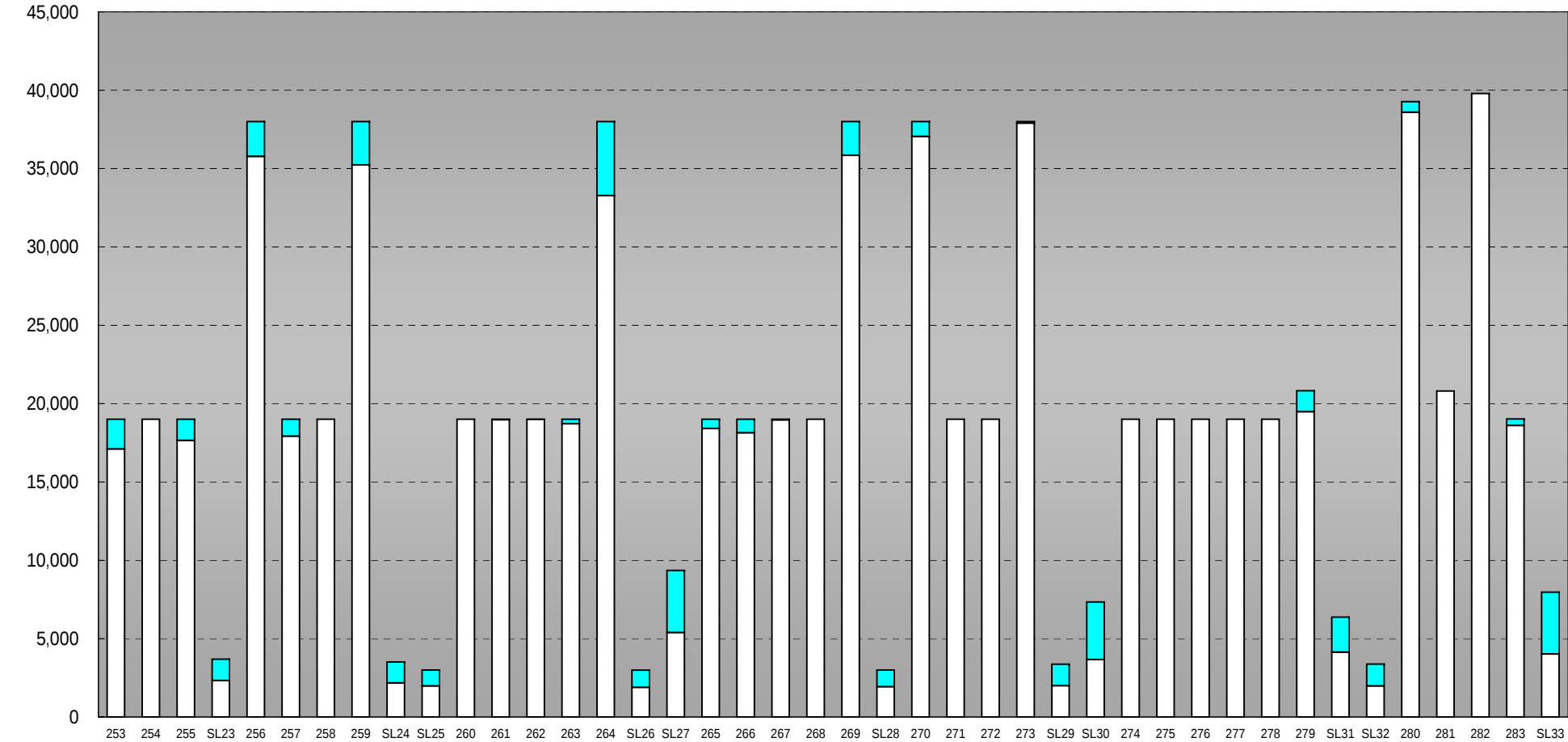
残存 11 ～ 16 年 程 度 の 発 行 額 (20年償)



注: 市中残存額 = 市中発行額 - 日銀保有分

残存6年～9年までの発行額

単位: 億円



残存(年) 6

7

8

9

注) 残存は平成19年9月末を基準に計算
市中残存額は「入札時における市中発行額 - 日銀保有額」で計算
回号のみは10年債、SLは20年債

国債市場特別参加者会合(第8回)議事要旨(抜粋)
(平成 17 年 10 月 19 日)

▶ 理財局より「流動性供給入札」について、以下のようなイメージで実施する方向で検討中である旨発言した。

- ・ 基本的には、銘柄選定、発行額等について透明性の高い運用が可能な「構造的な流動性不足への対応」を目的として、システム対応が出来次第、18年度初頭から実施。
- ・ 対象銘柄は、20年債の残存13～14年ゾーン等が考えられる。
- ・ 来年度の実施予定金額は、来年度の国債発行計画の一環として、次回以降の特別参加者会合等において議論し、同計画の中で公表する。
- ・ 「一時的な流動性不足への対応」を目的とするものについては、来年度以降、特別参加者からの情報等に基づき、当局において必要があると認められるときに行う。
- ・ 実施の詳細（具体的な対象銘柄の選定方法、入札月、オファー時間等）については、1月以降、実施までの間に特別参加者との調整により決定する。